

【食事摂取の方法】

氏名 年齢 歳 男・女

項目	内容
食事姿勢	<input type="checkbox"/> 座位 <input type="checkbox"/> リクライニング (角度 度)
補助食品	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり ( )
食事方法	・介助方法 <input type="checkbox"/> 自力 <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助 ・一口量 <input type="checkbox"/> ティースプーン1杯程度 ・自助具 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 ( ) ★嚥下方法 <input type="checkbox"/> 交互嚥下 <input type="checkbox"/> 複数回嚥下 <input type="checkbox"/> 息こらえ嚥下 <input type="checkbox"/> 一側嚥下 <input type="checkbox"/> 特になし
食事の状況	・食欲 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし ・水分量 1日 ( ml 程度 ) ・食事回数 1日 ( ) 回 ・食事に要する時間 ( ) 分 ・むせ <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 時々 <input type="checkbox"/> 無 ・口の中の残留 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
水分の飲み方	・とろみ調整食品 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> あり：( <input type="checkbox"/> 薄いとろみ <input type="checkbox"/> 中間のとろみ <input type="checkbox"/> 濃いとろみ)
薬の飲み方	・投薬法 <input type="checkbox"/> 経口 <input type="checkbox"/> 経管 ・飲み方 錠剤： <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> とろみ水 <input type="checkbox"/> ゼリー埋め込み <input type="checkbox"/> 簡易懸濁法 散剤： <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> とろみ水 <input type="checkbox"/> ゼリー埋め込み <input type="checkbox"/> 簡易懸濁法

★嚥下方法 (食べ物の残留を防止するとともに、残留を除去する方法)

交互嚥下	ゼリー → おかず → ゼリーなど、異なった食物形態を交互に食べる
複数回嚥下	1口食べる毎に、追加で唾液とともに飲み込みを行う
息こらえ嚥下	飲み込みをするときに、同時に息をこらえるようにすること
一側嚥下	のどの麻痺側に頭頸部を回旋することで、非麻痺側の咽頭から食べ物を通過させる

【とろみ調整食品連携表】

適応段階に『○』をつけてください。

	段階1：薄いとろみ	段階2：中間のとろみ	段階3：濃いとろみ
性状の説明 (見たとき)	・スプーンを傾けると すっと流れ落ちる ・フォークの歯の間から 素早く流れ落ちる ・カップを傾け、流れ出た 後には、うっすらと後が 残る程度の付着	・スプーンを傾けると とろとろと流れ落ちる ・フォークの歯の間から ゆっくりと流れ落ちる ・カップを傾け、流れ出た 後には、全体にコーテ ィングしたように付着	・スプーンを傾けても、形状 がある程度保たれ、流れ にくい ・フォークの歯の間から流 れない ・カップを傾けても流れな い(ゆっくりと塊となっ て落ちる)
とろみ調整 食品に提示 された 目安食材	フレンチドレッシング	とんかつソース	マヨネーズ

(日本摂食嚥下リハビリテーション学会嚥下調整食分類2013「とろみ」抜粋)

(日本介護食品協議会「とろみの目安」抜粋)

※嚥下障害には個人差がありますので、誤嚥をふせぐため個人に合わせたとろみの段階(目安)調整してください。

※商品によって使用量・使用方法が異なりますので、商品パッケージをご確認ください。